

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第29号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成22年3月2日 07時40分ごろ	
発生場所	千葉県千葉市千葉港丸紅シーバース灯から真方位125° 1,540m付近 (概位 北緯35° 35.28′ 東経140° 05.56′)	
事故等調査の経過	平成22年3月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 貨物船 ^{ジェイエイチ ヤング} J H YOUNG (大韓民国)、5,556トン 船舶番号、船舶所有者等 8914934 (IMO 番号)、SHINHAN CAPITAL CO.,LTD.	
乗組員等に関する情報	船長、免状不詳	
死傷者等	なし	
損傷	本船 右舷前部外板に破口を伴う凹損 岸壁 岸壁角の損壊	
事故等の経過	本船は、船長ほか15人が乗り組み、千葉県美浜区新港のJFE西工場北NA岸壁（以下「本件岸壁」という。）に右舷着けする予定で同岸壁に接近中、平成22年3月2日07時40分ごろ本船の右舷側前部と本件岸壁の北西端とが衝突した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風力 4、最大瞬間風速 約11～12 m/s 海象：平穏、潮汐 下げ潮の初期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、千葉港において、本件岸壁に右舷着けする予定で接近中、北東風に圧流されたため、本件岸壁の北西端に衝突した可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、千葉港において、本件岸壁に右舷着けする予定で接近中、北東風に圧流されたため、本件岸壁の北西端に衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	